

説教題：主への悪魔の試み

聖書：マタイ 4章1～11節

＜口語訳＞

新約聖書4頁

マタイ 4章1～11節

＜新共同訳＞

新約聖書4～5頁

マタイ 4章1～11節

＜新改訳第3版＞

新約聖書4～5頁

マタイ 4章1～11節＜塚本訳＞

新約聖書72～73頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ書4章1～11節**では、**悪魔**によって**試み**を受けて、この**試みに勝利**された出来事が、扱われています。

⇒ユダヤ人には、**救い主(メシヤ)**=**王**なのです。

⇒**マタイ書3章**で、**バプテスマのヨハネ**から**洗礼**を受けた後、**天が開け**、**聖霊**が**鳩**のように降って来るのをご覧になったと、記録されています。

⇔**SY師**は、「**天が開け**、**聖霊**が**鳩**のように降って来る」をご覧になったのは、**神の御子主イエス様**だけだったと仰せです。

⇒そして、**マタイ書3章17節**では、「これは(いま)わたしの『**最愛の子**、』『わたしの心になつた』」と言う声が天から出たとあります。

⇒**マタイ書4章1～11節**の**悪魔の試み**は、「**神の最愛の御子**」であるとの「**天からの声**」への**挑戦**でもあったのです。

⇔**悪魔**は、「**中傷者**διάβολος」として描かれます。

本論；

◇本日、**マタイ書4章1～11節**から主の**使信**に**思い・心**をとめます。

◆**マタイ4章3～4節**；**神の御子主イエス様**は、「**悪魔・中傷者**διάβολος」に対して、**人間**は、**神の口**から出てくる**みことば**によって生きると、**語られました**。

◇1～11節；塚本訳◆**荒野の誘惑**

「**3** **すると誘惑する者〔悪魔〕が進み寄って言った、『神の子なら、(そんなにひもじい思いをせずとも、)そこらの石ころに、パンになれと命令したらどうです。』**

4 **しかし答えられた『パンがなくとも人は生きられる。(もしなければ、)神はそのお口から出る言葉のひとつひとつで(パンを造って、)人を生かしてくださる』と(聖書に)書いてある」と、マタイは記録しています。**

◇**3節**；「**誘惑する者〔悪魔〕が進み寄って言った**」、「**神の子**」なら、「(そんなにひもじい思いをせずとも、)」、「**そこらの石ころに、パンになれと命令したらどうです**」と、マタイは「**悪魔・中傷者**διάβολος」の**挑戦**を記します。

⇒**神の御子**が、40日40夜の断食の後、空腹を覚えておられた状況を誘惑に利用しました。
⇨人間にとって、空腹は食べたいという気持ちになり易いのです。

◇4節;「**パンがなくとも人は生きられる**」、「(もしなければ、)神はそのお口から出る言葉のひとつひとつで(パンを造って、)人を生かしてください」と、**神の御子**は、申命記8章3節の「それで主はあなたを苦しめ、あなたを飢えさせ、あなたも知らず、あなたの先祖たちも知らなかったマナをもって、あなたを養われた。人はパンだけでは生きず、人は主の口から出るすべてのことばによって生きることがあなたに知らせるためであった」との旧約聖書のみことばをもって、**悪魔**にお答えになりました。

⇒荒野の40年の旅において、**神**は、**マナ**を与え、民の食物とされ、民の農耕なしに食糧確保ができるようにされました。

⇒**神の御子**は、この出来事の本質は、「**神のみことば**」に**聴従**することであると、「**中傷者** διάβολος・**悪魔**」の**試み**に応答されました。

◆ マタイ4章5～7節；神の御子主イエス様は、「**悪魔・中傷者** διάβολος」に対して、**神を試みてはならないと、語られました。**

◇ 1～11節；塚本訳◆ **荒野の誘惑**

「5 **そこで悪魔はイエスを聖なる都(エルサレム)に連れてゆき、宮の屋根の上に立たせて**

6 **言った、「神の子なら、下へ飛びおりたらどうです。『神は天使たちに命じて、手にてあなたを支えさせ、足を石に打ち当てないようにしてくださる。』と(聖書に)書いてあります。(人々はそれを見て信じ、たちどころにあなたの国が出来ます。)」**

7 **イエスは言われた、「ところが、『あなたの神なる主を試みてはならない』とも書いてある。」と、マタイは記録しています。**

◇ 5～6節；「**イエスを聖なる都(エルサレム)に連れてゆき、宮の屋根の上に立たせて**」、「**神の子なら、下へ飛びおりたらどうです**」、「**『神は天使たちに命じて、手にてあなたを支えさせ、足を石に打ち当てないようにしてくださる』と(聖書に)書いてあります**」、「**(人々**

はそれを見て信じ、たちどころにあなたの国が出来ます)」と、マタイは「**悪魔・中傷者** διάβολος」の挑戦を記します。

⇒ **神の御子と悪魔との会話**において、「イエスを聖なる都(エルサレム)に連れてゆき、宮の屋根の上に立たせる」ことは、「**心の中**」で描かれるものであると、理解しておくべきです。

⇒ 「**悪魔・中傷者** διάβολος」は、**神の御子**が旧約聖書を用いて対抗されたので、**詩篇91篇11～12節**を使って、**神の御子**に挑戦しました。

⇒ 「**悪魔・中傷者** διάβολος」の狙いは、塚本訳が「(人々はそれを見て信じ、たちどころにあなたの国が出来ます)」と補足された通り、**神の御子の思い**が、実現へ実証する絶好の機会だと、人間となられた**神の御子の自立**に挑戦したかったということです。

⇒ **悪魔の誘惑**に敗北した**アダムとエバ**は、**人間の自立**を優先してしまったのです。

⇒ **詩篇91篇11～12節**は、本来、**神**が、御使いを用いて、**神の民**を守って下されという**神の恵み**を示すものなのです。

⇔ **悪魔**は、**聖書**を悪用もする存在です。

◇7節;「『あなたの神なる主を試みてはならない』と、(申命記6章16節に)「書いてある」と、神の御子は、「悪魔・中傷者 διάβολος」に対応されました。

⇒申命記6章16節は、「あなたがたがマッサでしたように、あなたがたの神、主を試みてはならない」と、「マッサ」で、神の民が神を試みたことへの警告のことばです。

⇒悪魔は、詩篇91篇11～12節のことばを利用して、神のみことばの命令に聴き従う思いはなかったことを、神の御子は示されたのです。

⇒この試みでも、神の御子の思いは、徹底して、人間の立場立って、悪魔に対抗し、神への聴従を優先されたのです。

⇒神の御子が、「神の命令」の内容を**実証実験**することよりも、「神が隠されたみこころ」を探り出すことよりも、「神が発表済のみことば」に聴くことが、**神信仰・神信頼**であることを語られたのです。

⇒マタイ書3章17節の天の声は、神に従って、ヨハネから洗礼を受けた主への祝福です。

◆ マタイ4章8～10節 ; 神の御子主イエス様は、「**悪魔・中傷者** διάβολος」に対して、神のみを礼拝することを求められました。

◇ 1～11節 ; 塚本訳 ◆ **荒野の誘惑**

「8 悪魔はまたイエスを非常に高い山に連れてゆき、世界中の国々と、栄華とを見せて
9 言った、「あれを皆あげよう、もしひれ伏してわたしをおがむなら。」

10 そこでイエスは言われる、「引っ込んでいろ、悪魔！（聖書に）『あなたの神なる主をおがめ、』『主に』のみ『奉仕せよ』と書いてあるのだ。」と、マタイは記録しています。

◇ 8～9節 ; 「悪魔はまたイエスを非常に高い山に連れてゆき、世界中の国々と、栄華とを見せて」、「あれを皆あげよう、もしひれ伏してわたしをおがむなら」と、「**悪魔・中傷者** διάβολος」は、挑戦します。

⇒「**悪魔・中傷者** διάβολος」は、神の御子が徹底して、神への聴従を人間となられた**神信仰表明**とされる姿を見て、**悪魔礼拝**を要求しているのです。

⇒**神なき社会の生活の困難さ**を示すものです。

◇10節;「引っ込んでいろ、悪魔!」、「(聖書に)『あなたの神なる主をおがめ、』『主に』のみ『奉仕せよ』」と、「書いてある」と、神の御子は、申命記6章13節をもって、「悪魔・中傷者 $\delta\acute{\iota}\alpha\beta\omicron\lambda\omicron\varsigma$ 」に強く語られます。

⇒マルコ書1章13節では、「敵」を意味する「サタン」を用いていますが、最後の試みで、「悪魔・中傷者 $\delta\acute{\iota}\alpha\beta\omicron\lambda\omicron\varsigma$ 」の本心が明確にされ、神聴従の心が全く欠落した存在であることが、神の御子によって示されています。

⇒塚本訳は、「引っ込んでいろ、悪魔!」と厳しい口調で、「悪魔・中傷者 $\delta\acute{\iota}\alpha\beta\omicron\lambda\omicron\varsigma$ 」に語られる神の御子の姿勢を示しています。

⇒申命記6章13節は、「あなたの神、主を恐れてこれに仕え、その名をさして誓わなければならない」と語るが、申命記6章10~12節では、「10 あなたの神、主は、あなたの先祖アブラハム、イサク、ヤコブに向かって、あなたに与えると誓われた地に、あなたをはいらせられる時、あなたが建てたものでない大きな美しい町々を得させ、
11 あなたが満たしたものでないもろもろの

良い物を満たした家を得させ、あなたが掘ったものでない掘り井戸を得させ、あなたが植えたものでないぶどう畑とオリーブの畑とを得させられるであろう。あなたは食べて飽きるであろう。

12 その時、あなたはみずから慎み、エジプトの地、奴隷の家から導き出された主を忘れてはならない」と、語られていました。

⇒10節の「仕えるλατρεύω」は、「礼拝する」ことを意味することばで、11節の「仕える」が、教会の奉仕者に通じる意味のことばとは違えてあります。

⇒申命記6章13節の「仕えるλατρεύσεις」が、「礼拝する」ことを命じているのです。

⇒「神を礼拝する」ことは、「あなたはみずから慎み、エジプトの地、奴隷の家から導き出された主を忘れてはならない」との神の命令を心にとめることにほかならないのです。

⇒「悪魔・中傷者διάβολος」の「試み・誘惑」へ勝利する基本的な生き方は、「神を礼拝する」ことに尽きるのです。

⇒「礼拝する」ことは、神聴従の本質的道です。

結論；

◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。

◇**マタイ書4章1～11節**では、**悪魔**によって**試み**を受けて、この**試みに勝利**された出来事が、扱われています。

⇒**マタイ書4章1～11節の悪魔の試み**は、「**神の最愛の御子**」であるとの「**天からの声**」への**挑戦**でもあったのです。

⇒先週の「**5000人の給食**」は、「(神に)**感謝** εὐχαριστέω」をささげ、**聖餐**を大事にすることで、**神の御子**をあかしできると、知りました。

⇒本日は、①**神はそのお口から出る言葉のひとつひとつで(パンを造って、)人を生かしてください**、②**神なる主を試みてはならない**、③**礼拝することに基づく「神聴従の本質的道」が、神の御子によって示され、「悪魔・中傷者διάβολος」に勝利させる**ものです。

⇒「**悪魔・中傷者διάβολος**」の**試み**は、「**神なき社会の生活の困難さ**を示す」ものですから、**神の御子**が、徹底して、人間の弱さの中で、**神礼拝**を優先して下さったことを「(神に)**感謝**εὐχαριστέω」し続けたいと願います。